

ユウスケの繰言や

ツクシマツモトの内証ばなしが

風の吹き出してしまった

笑声の中からはじき出される

うーんと背伸びをして

ごろんと寝ころがると

心がふわつと軽くなる

大地の匂いが草色に溶けて

光の中を昇っていく

青空に抱れた涅槃像が微笑んでいた

くまとの風 NO. 88 '87 8月

